老年・高血圧内科/総合診療通信

2021年号

An Annual Newsletter from
the Department of General and Geriatric Medicine

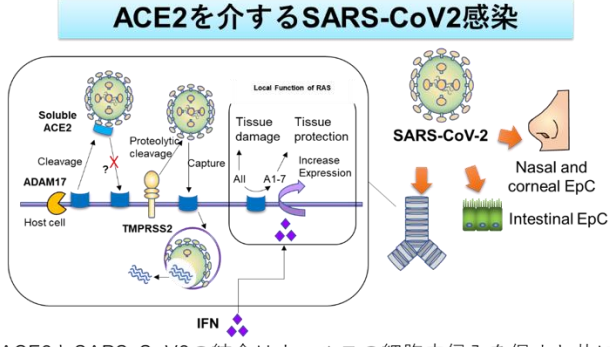
秋晴れの心地よい季節となりました。コロナ感染者数は減少しておりますが、第6波も懸念され、長引くコロナ禍において、感染予防対策や診療において、大変なご苦労な中、毎日をお過ごしのこととお察しいたします。

阪大病院では大阪府の要請もあり、重症患者をICUで受け入れており、病院全体でサポートしている体制を構築しています。当科もICUへ医局員を派遣することで、その診療に貢献しています。しかし、これまでの通常診療は変わらず継続しております。今後も医局員一同、益々精進してまいりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

ﾄﾋﾟｯｸｽ　レニン-アンジオテンシン(RA)系阻害薬がCOVID-19に及ぼす影響について

昨年初めにCOVID-19のパンデミックが発生して人々の生活は一変いたしましたが、未だ収束の見通しが立たず、先生方の日常診療にも大きな影響が及んでいることと思います。

特に重篤な感染リスクを有する高齢者で服用率の高いARBやACE阻害薬などのRA系阻害薬がCOVID-19の感染リスクとなる可能性が当初、指摘されていました。これはRA系阻害薬がCOVID-19の原因ウィルスSARS-CoV2の受容体であるACE2の発現を増加させることが、過去の動物実験で多く報告されていたことに基づきます。一方、感染患者を対象にした臨床研究がその後報告されるようになりそのような懸念は払しょくされております。52の臨床研究をメタ解析した報告では、RA系阻害薬内服がCOVID-19感染高血圧患者の予後改善と関連することが示されています (JAMA Netw Open. 2021;4(3):e213594.)。また、高血圧患者へのRA系阻害薬の投与がCOVID-19の予後を改善させることを証明するための前向きランダム化比較試験も世界では進行中です。我々はアンジオテンシンIIやARBが臓器のACE2を増やさないことを見出しており(FASEB J. 2021;35(3):e21419.)、RA系阻害薬はCOVID-19感染が引き起こすACE2機能不全で活性化した、全身のRA系を抑制するため有益であることも示唆されます。COVID-19は外出控えにより高齢者のフレイルの進行を招いていることも懸念されています。高齢高血圧患者の健康寿命を守るためにRA系阻害薬が有用か、臨床試験の結果が期待されます。



ACE2とSARS-CoV2の結合はウィルスの細胞内侵入を促すと共に、ACE2の機能喪失を引き起こし臓器を傷害する

Hypertens Res. 2020;43(10):1028-1046.

文責：山本浩一

診療グループのご紹介

今回は、当科において、老年内科と並ぶ二本柱の一つである総合診療部を紹介させていただきます。
診断の付かない症状を社会的背景まで考慮して解決します。ご相談がありましたら遠慮なくご紹介下さい。

総合診療部

メンバー： 中神太志、本行一博、井原拾得、濱家千絵、山本浩一

総合診療部が担当する総合診療科は、診療する病気、症状が特に決まっているわけではありません。

来ていただいているのは、まだ病気の診断が付いていなかったり、診断が付いても問題が解決せずに症状で悩んでいる患者さんです。症状が出てから間もない患者さんもいらっしゃいますが、症状が始まってから長期間経っている患者さんが多いのが特徴です。地域の病院や医院から未解決の問題について紹介されて来られる場合や、患者さん御自身が希望して紹介状を書いてもらって訪れる場合などがあります。

今まで複数の医療機関で診てもらっても解決していないような症例の多くは、血液やレントゲンなどといった検査での『目に見える』異常が無いことが多いです。しかしそのようなケースでは、『目に見えない』情報にしばしば診断の糸口があります。そのため、問診は、時間をかけて丁寧に行います。いつから、どのような症状があり、どのような時にその症状が出たり、強くなったりするのか、また和らぐのか。身体診察も必要と考えたポイントについては念入りに行います。これらの情報から問題のある箇所を絞り込みながら、身体診察を行います。特に経過の長い患者さんについては、血液検査やレントゲン、CT、MRIなどの検査は行わずに診断に至ることもあります。診断後は、そのまま総合診療科が診療することもありますし、専門診療科に紹介することもあります。

例として、1ヶ月以上続いた発熱と腰痛の原因が感染症だったケース、毎週一日だけ発熱していた原因が加湿器の汚染だったケース、全身の痛みと目が見えづらい原因が免疫の病気だったケース、発熱の原因が汗が出ないことだったケースなどがあります。

外来診療は、月曜から金曜の午前中に行っています。1カ月に約50人の初診の患者さん、約150人の再診患者さんが訪れます。

医療は高度に発達し、医師の専門化、細分化が進んでいます。一方で、総合診療部は広く浅く総合的に診療することを重視していますので、医学生や初期臨床研修医の教育に適していると考えられ、当科外来で実習を日常的に行っています。身体的問題を的確に判断することは勿論大事ですが、「体だけを診て患者を診ない」医師になってはならないと指導しています。

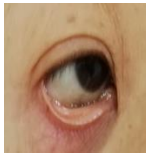
文責：中神太志

風が吹けば桶屋が儲かる？

鉄欠乏性貧血による異食症により柑皮症を呈したの１例

52歳女性　主訴）倦怠感　既往歴）子宮筋腫　家族歴）特記なし
現病歴）一年ほど前から、娘に顔色の悪さを指摘されていた。数週間前から全身倦怠感があり、当院を受診。

身体所見　血圧128/72mmHg 脈拍74bpm 体温36.5℃　SpO2 99%　呼吸数18回
全身状態良好 顔面、体幹、上下肢など全身の黄色変化あり（図参照）
眼瞼結膜：貧血様、眼球結膜：黄疸様 呼吸音：清明 心音：整、雑音なし
腹部：軟、平坦、圧痛なし。肝腫大なし、肝叩打痛なし。脾腫なし 下腿：浮腫なし



血液検査所見　WBC 6630/uL, RBC 360万/uL, Hb 6.9 g/dL, MCV 66.4, Plt 45.8万/uL, T.Bil 0.6mg/dL, AST 20U/L, ALT 15U/L, HbA1c 5.9%, Cre 0.91mg/dL, BUN 19 mg/dL, Ferritin 2 ng/mL, TSH 1.99 uIU/mL, F-T4 1.0 ng/dL

治療・考察　全身倦怠感、全身の黄色変化、小球性貧血、鉄欠乏の問題点が挙げられた。全身の黄色変化が見られたが、黄疸、甲状腺機能低下、糖尿病、腎障害は否定的であった。そこで、問診を追加したところ、柑橘類の過食はなかったが、ニンジンを生で毎日3本食べていることがわかり、柑皮症と診断した。ニンジンを生で食べるという明らかに異常な食習慣があり、ニンジンの他にもミントキャンディーを1日に1袋食べていることがわかったため、異食症と診断。原因は鉄欠乏と考えられた。鉄欠乏の原因は子宮筋腫による過多月経であると考えられた。鉄投与により、異色症は1週間ほどで改善。貧血も改善傾向となった。子宮筋腫に対しての手術希望はなく、退院となった。子宮筋腫から最終的に全身の黄色変化に至るという、非常に興味深い症例であった。

文責：中神太志

外来担当日とご紹介方法

外来担当表

		内科1階	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
老年・高血圧内科	午前	4診	中嶋恒男（もの忘れ）	森下竜一	楽木宏実	高橋利匡（ふらつき）	山本浩一/本行一博（睡眠時無呼吸）
		5診	野里陽一	鷹見洋一	横山世理奈	赤坂 憲（高齢者糖尿病）	神出 計
	午後	4診	神出 計	赤坂 憲	楽木宏実	谷山義明/横山世理奈（睡眠時無呼吸）	野里陽一（高齢者糖尿病）
		5診	武田朱公（もの忘れ）	竹屋 泰（もの忘れ）		鷹見洋一（もの忘れ）	高橋利匡
総合診療科			月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
	午前	1診	本行一博	井原拾得	山本浩一	濱家千絵	中神太志

紹介・予約方法

1. 申し込み
「紹介・予約申込書」に必要事項をご記入の上、下記のFAX番号にFAXでお送り下さい。
予約枠に制限があり、ご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承お願います。

2. 予約票等の送信
予約受付完了後、「診療予約票・診療申込書」、「予約患者さんへ 外来受診のご案内」、「交通のご案内」をFAXでお送りします。

3. 予約票等の手渡し
「診療予約票・診療申込書」、「予約患者さんへ 外来受診のご案内」、「交通のご案内」、「紹介状（診療情報提供書）」、検査結果、フィルム(CD-ROM）等を患者さんにお渡し下さい。

大阪大学医学部附属病院 保健医療福祉ネットワーク部
TEL 06-6879-5080、FAX 06-6879-5081
受付時間 TEL:月～金 9:00～17:00、FAX:月～金 9:00～18:00

紹介・予約申込方法の詳細：「阪大病院」「紹介」で検索するとトップに出てきます！
http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/institution/apply.html

当科への外来および入院紹介に対するご相談窓口として、ホットラインの設置しております。ホットラインの電話番号は直通で、06-6816-8409（PHS: 受付時間 9:00～18:00）です。
次号は2022年秋頃の発行予定です。今後とも宜しくお願い申し上げます。（編集：鷹見洋一）

老年・総合内科学医局　連絡先：電話 06-6879-3852、FAX 06-6879-3859